

♪ 風切って行こう ♪

—さわやかサイクリング大会—



晴天に恵まれた先月8日、村民サイクリング大会が行われました。

下は7歳から上は77歳まで、約80名の参加者たちは、一路「寺泊さわやか公園」をめざし出発しました。

途中、交通指導員や交通安全協会の方々にご協力いただきながら、全員無事、目的地に到着しました。

到着後、役員の方々が用意した豚汁と、それぞれ持参したお弁当に舌鼓をうち、梅雨前のさわやかな1日、こち良い潮風を存分に満喫しました。

“美女ナデシコがお迎えします”

—更生保護婦人会、スカイライン入口美化活動—



夏の行楽シーズンに向けて5月23日、県道新潟五泉間瀬線のスカイライン入口花壇で、更生保護婦人会（齋藤ヒサ子会長）により「ナデシコ」の苗の植え付け作業が行われました。

昨年からの、社会奉仕活動として花壇の美化及び周辺の清掃にご協力されている更生保護婦人会の皆さん、本当にありがとうございました。

昨年の「サルビア」に続き、可憐に咲く「美女ナデシコ」の花を、ぜひご覧になって下さい。

“談志の田んぼ”で
田植え祭り

200人以上の見物人が見守る中、先月1日「談志の田んぼ」（夏井・ハザ木展望施設）で、田植え祭りが行われました。

岩室落語会（和田義昭会長）の招きで今回3回目の来村となる談志師匠は、到着後早速一席披露した後、素足で田んぼに入りました。時折、冗句を交えながら、一本一本苗を植えていくと、見物人からは、その慣れた手つきに驚きの声があがっていました。

田植えの後は「元気工房わのう」「岩室旅館組合青年部」「商工会青年部」「夏井集落」の協力により、もちつきやバーベキューなどが行われ、多忙なスケジュールの中かけつけた談志師匠は、のどかなひとときを過ごしました。



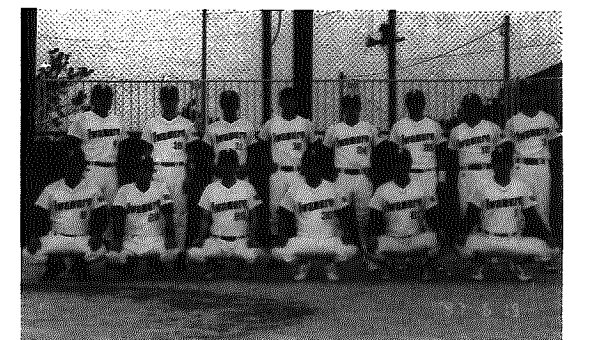
岩室クラブ下越大会優勝

—第41回高松宮賜杯—

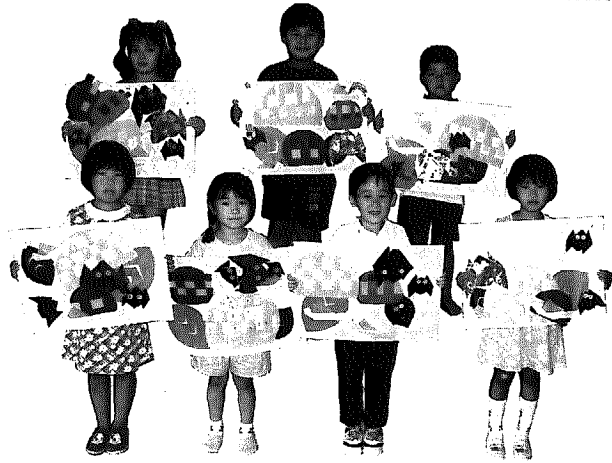
先月15日、各予選を勝ち残った6チームで争う第41回高松宮賜杯（一部）野球下越大会が、岩室村民球場で行われました。

西蒲原郡代表として出場の岩室クラブは、1回戦をシードされ2回戦からの登場。初戦の相手は、1回戦で強豪を破った新津市役所との対戦、初回先頭打者ホームランがとび出すなど、終始相手を圧倒、結局岩室クラブが7対0で5回コールド勝ちし、決勝へ駒を進めました。続く決勝戦でも9対2で圧勝し、見事優勝しました。

7月12、13日の両日、長岡市で行われる県大会への出場を決めた岩室クラブの皆さん、県大会での活躍を期待しています。



ほのぼのの自信作



■写真上段左から：たなかありさちゃん、まきたみずきくん、つちだりょうたくん、■下段左から：たなかなつきちゃん、せきねあきちゃん、ほしのたくみくん、たきざわなるみちゃん

■和納保育園 五歳児

■このコーナーでは、皆さんからの情報を募集しています。地区内行事、ボランティア活動などなんでもOK。総務課企画係（☎82-4111内線207）までご連絡ください。
■この広報紙にあなたが写ってましたら、総務課企画係へご連絡ください。写真をさしあげます。

若い者には

負けネエ

壮年岩室クラブ
下越大会優勝

五月十八日、強風が吹き荒れ砂ぼこりが舞う中、第二十九回下越壮年野球大会が黒埼町営野球場で行われました。

出場選手は四十二歳以上、九人の合計年齢が四五〇歳以上という壮年野球、ルールは特別ルールで、二試合の合計失点の少ないチームが優勝するというユニークな大会でした。

比較的若い岩室クラブの初戦の相手は黒埼クラブ、失点を三점에抑え八対三で圧勝し、二試合目には優勝の期待がかりました。

二試合目の失点を二点に抑えなければならぬというきびしい条件のもと、優勝を決める試合では、初回いきなり二点を奪われたものの、投手陣の踏ん張り、堅い守りで見事優勝を勝ち取りました。

八月三十一日加茂市で行われる県大会でも、全国大会目指し頑張ってください。



第47回 社会を明るくする運動

ふれあいと対話が築く明るい社会

毎年七月は「社会を明るくする運動」の強調月間です。

この運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力をあわせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。本年度の重点目標は、「地域住民の理解と協力により、罪を犯した人や非行に陥った少年の更生を支える」です。

罪を犯した人や非行に陥った少年の更生と円滑な社会復帰については法務省を中心とした行政機関が携わっていますが、犯罪者や非行少年もいずれば地域の一員として生活していくことになるのですから、その更生と社会復帰が真に実効あるものとなるためには、本人の強い意志と併せ、家庭、職場、学校、地域社会などの理解と協力が不可欠です。

私たちの地域社会から非行に走る少年を出さないよう、一人ひとりが力を合わせましょう。また、不幸にして非行に陥った少年の更生をみんなで援助しましょう。

なお、村内では次の五名の保護司が、皆さんの相談に乗ってくだ

さいます。

- 寒河江真爾さん（石 瀬）
- 五十嵐和夫さん（間瀬二区）
- 鈴木喜久男さん（間瀬二区）
- 海津 道彦さん（和納二区）
- 海老名二郎さん（和納三田）

※なお、この運動についてのお問い合わせは、役場住民福祉課戸籍係（☎82-5713）、または社会を明るくする運動事務局（新潟地方務総合庁舎新潟保護観察所内 ☎025-222-1531）までどうぞ。

